

1年間、副理事長として法人内各部署の現場や運営会議に参加してきた。それぞれの現状・課題を知ると同時に、各部署が課題を解決できてい



ることも分かり、「優秀な人材がそろっていて、頼もしく感じるといふ。社福等の関連グループも含め、今年度は347人の職員が入職した。医

浜仁会グループ最高責任者に就任した

成田吉明氏



師は研修医を含めて59人。部署や勤続年数、役職等に応じて数多くの研修制度を設けており、人

材育成に力を入れていく。グループが同じベクトルに進めるようできる限り研修にも顔を出し、スタッフと交流する機会を作っていく考えだ。働き方改革について、

コミュニケーションを重視

手稲浜仁会病院ではA水準を目標に準備を進めている。「ここ数年、時間外労働を減らす取り組みを行ってきた。宿日直許可など、今年は結果を出す勝負の年」と意気込む。同法人は、道内でも有数の規模であり、先進的な取り組みも多い。第4期中期5カ年経営ビジョンの3年目となるが、田中繁道前理事長が築いてきた路線を継承していくことを基本としつつ、「地域への貢献と共に、他施設に参考にしてもらえるような事業運営を進めていきたい」。